

第3回 攻めの農林水産業実行本部 議事要旨

開催日時:平成26年11月20日(木曜日)17時00分~17時55分

開催場所:農林水産省 第一特別会議室

出席者:(本省)あべ副大臣、小泉副大臣、中川大臣政務官、佐藤大臣政務官、事務次官、官房長、総括審議官、総括審議官(国際)、技術総括審議官、統計部長、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局参事官、農村振興局長、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、水産庁長官

(地方農政局等)東北農政局長、関東農政局長、北陸農政局次長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長、北海道農政事務所長、北海道開発局次長、沖縄総合事務局農林水産部長

議題:先端技術事例紹介、農政改革の実行状況について 他

発言者及び発言内容 :以下のとおり

(あべ副大臣) 本日は、第3回の「攻めの農林水産業実行本部」ということで、各局庁の長にお集まりいただき、また、地方農政局等の長にもTV会議システムでご参加いただいている。前回のこの本部において、地方部局、本省の各局庁から、それぞれ、「現場の先進事例」を報告していただいた。

大臣が常々おっしゃっている、農林漁業者の所得を向上させ、地域の賑わいを取り戻していくには、現在取り組んでいる施策の実行状況を把握し、今後の課題等について、この本部においてしっかりと議論し、現場の取組に反映していく必要があると考えている。

このため、今回の本部においては、現場作業の軽労化を通じた生産コストの低減や、生産物の付加価値を高めるような研究の成果について紹介いただくほか、6次産業化や欧米等への輸出の取組、農山漁村活性化施策の検討状況について、担当部局から報告いただく。皆さんからの活発なご意見やご議論をいただけるようお願いして、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

《 議題1 先端技術事例について、雨宮技術会議事務局長から説明、及び、除草ロボットについての実演 》

(あべ副大臣)除草ロボットの販売価格はいくらぐらいか。

(小泉副大臣)傾斜45度は凄いけれど、あぜ道の下などぬかるんでいるところでもこのクローラーで走って行けるものなのか。

(事務次官)除草ロボットは農業だけでなく造林地への適用を考えてはいかがか。その場合は、灌木の類に草刈り機の刃が負けないように強くするなどの工夫が必要かもしれないが。

(中元主任研究員)現在は1台ずつ試作し、改良も加えているので、製作費ははつきりとは申し上げられないが、販売価格は1台 200 万から 300 万円で考えている。農業法人からも 300 万円以下なら導入する価値があるとの声を聞いているところ。

ぬかるみについては、水没するほどでなければ、直進性は劣るが、傾斜 40 度までの作業が可能。今の実演はナイロンコード刃であるが、これをより丈夫な金属刃に付け替えることもできるため、林業への適用も可能と考えている。

《議題2 農政改革の実行状況について、食料産業局長、農村振興局長から説明》

(佐藤大臣政務官)輸出相談窓口については、主にどのような相談内容があり、どのような反響か、教えてほしい。相談の仕方は来訪か電話か、窓口を通じてうまくいった事例は。

(櫻庭食料産業局長)輸出に挑戦する動機付けとしての成功事例を聞きたい旨の問い合わせや、研修会の開催予定、より具体的な支援策を担当する窓口についての問い合わせが多い。相談の仕方は大半が電話で、メールもある。直近でうまくいった事例はまだだが、今は来年度の案内をしているところ。例えば「ヨーロッパの見本市が来年いつあるので申し込みはこの時期です。」といった具合。

(中川大臣政務官)輸出と観光は切り離せないと思う。今朝 NHK で見た番組では外国人に人気の観光地としてマグロ解体等も見られる和歌山市の特集があった。人気の観光地はいずれも食と観光のパッケージが多いとの印象。こういった観光と食が一体となった場合の効果といった観点での分析などを行っているのか。

(櫻庭食料産業局長)具体的に数え上げた調査はしていないが、食と観光の組み合わせは旅行会社が努力しており多くの例がある。例えば中国では東京で買い物後、箱根に行き、富士山を見つつ京都へ行って帰るといった旅行が定番。東南アジアでは北海道のネームバリューが大変高く、帯広入りして旭山動物園、富良野を回る旅行などがある。台湾向けには、北陸が雪と温泉と魚介をセットで打ち出しておりこれも大変な人気と聞く。

(小泉副大臣) 本日は、各局庁からの報告を受けて、現状の課題や今後の取組について、本部員の認識が共有されたと考えている。また、施策が現場において着実に効果を発揮するには、国、県、市町村が、それぞれの伝える力を発揮し、補い合っていくことが重要と考えている。農林水産省職員自身も、施策のセールスマンとなって、現場にきめ細やかに施策を伝える努力を続けてほしい。

常々申し上げているのだが、「ほしいものを」、「ほしい時に」、「ほしいだけ」、「好きな所で」、「気持ちよく」、というのがマーケティングの基本であり、私自身も政治家として気をつけたいと考えているところ。皆さんもぜひ施策のセールスにおいて留意していただきたい。

以上